



海外展開に取り組む 和歌山県企業

事例集



2022年8月

商工組合中央金庫 和歌山支店
日本政策金融公庫 和歌山支店・田辺支店
日本貿易振興機構 和歌山貿易情報センター

三機関が連携した支援事例集の発刊にあたり

新しい一歩を踏み出すとき - 支援機関の活用のすすめ -

大阪関西万博まで残る期間が3年足らずとなりました。国内外から3千万人近くが来場すると期待されるこの一大イベントを地域活性化の起爆剤にしようと検討、準備が進んでいます。また、大企業や地元の利に聡い企業などにおいては、機運醸成がこれからという今すでに、この国際的なイベントを自社のビジネスにどう活かしていくか検討、模索はじめています。

世界に目を向けますと、外国為替相場は円安の水準にあります。輸入コストの上昇という一面がある一方、輸出においては現地販売価格を引き下げられるなどプラスに働く良い状況とも言えます。感染症拡大や軍事侵攻とそれに伴う経済制裁、各国の経済金融政策における方向性の差異など、確かに行く先を見通せぬマイナス要因もあります。しかし、過去においても未来のことが分かって経営できたことはありません。経営者が、現状をしっかりと分析把握し、予想を立て、最終判断を下してきたわけです。今、企業各社にとっては新しい事業に踏み出すべきときが来ているように思います。

和歌山県をはじめとする地元自治体、各地の商工会議所や商工会、わかやま産業振興財団などは連携して、果敢に新規事業に取り組む企業、または現状ご苦労なさっている企業などに少しでも近くに寄り添い、支援を行いたいと考えています。

この度、ジェット口の呼びかけに日本政策金融公庫、商工中金にご賛同いただき、各種の政策、公的サービスをうまく活用しながら、海外へ展開なさっている企業のご活躍を事例集にまとめました。お目通しただけとお分りのとおり、国際ビジネスの経験の浅深にかかわらず、何かのきっかけで支援機関に相談したところ、期待どおりの、ときにはそれ以上の便益を得ることができたと複数の企業が過去のご経験を振り返っていらっしゃいます。今後、ジェット口、日本政策金融公庫、商工中金は連携をますます密にし、企業支援におけるシナジー効果を発揮していきたいと考えております。

本事例集を手にとられたことをきっかけに、皆さまには海外への輸出をはじめとする新しい事業へ足を踏み出すという気持ちになっていただけたと思います。そのときは地元の商工会議所や商工会、行政機関、そしてジェット口、日本政策金融公庫、商工中金へご相談ください。皆さまの状況に応じた適切な支援メニューの紹介や必要な情報提供ができると思います。

和歌山県を、企業もそこで働く人々も元気ある、活力のある地域にしていきたいと思います。



日本貿易振興機構（ジェット口）
和歌山貿易情報センター

会長 勝本 信一

CONTENTS

1. 海外展開に取り組む企業

農林水産・食品

ありだ農業協同組合（JAありだ）	3
カネナカ水産（株）	4
（株）紀州本庄うめよし	5
（株）九重雑賀	6
（株）世界一統	7
（株）八旗農園	8
（株）濱田	9
（株）マルリョウナガオカ	10

機械・工業製品

小川工業（株）	11
（株）三晃精密	12
（株）湯川鑄造所	13
（株）ユニカル	14

日用品・ソフトウェア

原田織物（株）	15
Bunpo	16

2. 企業支援機関のご紹介

日本貿易振興機構	17
商工組合中央金庫	18
日本政策金融公庫	19
わかやま産業振興財団	20
各機関へのアクセス	21
支援機関一覧	22

ありだ農業協同組合(JAありだ)

「有田みかん」と「農業」を核にした元気な地域づくりに貢献するという経営理念のもと、<元気な農業><元気な地域社会><元気なJA>の3つのビジョン実現を掲げ、地域の人々の仕事と暮らしを多方面からサポートする総合業務を担っている。

【所在地】和歌山県有田郡有田川町天満47-1

【主要国・地域】シンガポール、香港、ベトナム

【主力商品】温州みかん

日本初、温州みかんのベトナム輸出を実現 海外に販路を広げ、 農家の所得向上に貢献する



代表理事組合長 森田 耕司 氏



出発式 テープカット



共同記者会見



害虫対策用にシールを貼った
段ボール箱



ハノイでの披露会の様子



ハノイでの試食会の様子



出発式 トラックを見送る参加者

ベトナムへの輸出が解禁に

有田地域の日当たりの良い山々の傾斜地を活かし、約450年前から栽培される温州みかんは、「有田みかん」として品質と生産量において日本一を誇ります。

2021年10月、日本政府の働きかけにより、ベトナム政府との間で日本産温州みかんに関する植物検疫条件に合意され、輸出ができるようになりました。

私たちは、日本一のブランドであるとのプライドを持って、全国に先駆けてベトナムへの輸出に取り組みました。

今までにない上質な味わいが高評価

ベトナム輸出に向けてクリアしなければならない条件がいくつもありました。まず、生産園地と梱包施設を植物防疫所に登録する必要があり、登録した園地では、害虫を捕まえるトラップを設置し月2回チェックすることが求められました。また輸送時に害虫が入らないように、段ボール箱の取っ手と通気口に網目状のシールをひとつひとつ手作業で貼る必要があり、選果場でこれらの作業を行う際、登録生産園地以外のみかんが混入しないように、繁忙期でありながら、他の園地の選果作業を一旦止める必要がありました。

こうした苦労の末、検疫条件を無事クリアし、11月28日に地元選出の国会議員や知事らを招き出発式を行い、2トンの温州みかんをベトナムへ輸出することができました。

ベトナムでは、日本から初めて輸入された温州みかんを現地の人々に知ってもらうため、スーパーにおいてメディア向けの披露会、消費者向けの試食会を行い、消費者から「こんなに美味しいみかんは初めて食べた」などの感想を受けました。また、日本大使館の協力を得て、国家主席や首相をはじめとする政府関係者に、有田みかんを贈呈しました。後日、国家主席から感謝の御礼状をいただくことができました。

これらの輸出に向けた取り組みの中で、検疫手続きや出発式では県の関係部署にサポートをいただき、現地の披露会や情報発信ではジェットロに協力いただきました。

農家の所得向上のために

ベトナムでみかんの販売価格は、日本の倍以上になりましたが、販売開始から約1週間で売り切れてしまうなど、高い評価を得ました。検疫条件への対応が必要ですが、今年は輸出量を20トンに増やす予定で、旧正月の贈り物として活用したいなどの、現地から届くリクエストにも対応したいと考えています。

「有田みかん」は、国内でもニーズの高い農作物ですが、販路に海外を加えることで、農家の所得をより向上させ、また安定させることを図っていきます。

カネナカ水産 株式会社

国内外のフレンチやイタリアンのレストランと取引。フランス料理の修業をしていた代表の目利きや魚の扱いに、料理人から信頼が集まっている。

【所在地】和歌山県和歌山市西浜1660-401

【主要国・地域】タイ、香港、シンガポール、マレーシア

【主力商品】マグロ、ウニ

海外高級レストランから熱視線 コロナ後を見据えた種まきに注力



代表取締役
中井 一統 氏



タイ王国でのビジネスパートナーたち



タイ王国では真鯛や金目鯛など赤い魚が人気という



パレスの格付けのホテル『ブルピストル パリ』のエリック・フレッシュン氏と



競りで鋭い目を光らせる中井社長



和歌山市中央卸売市場

最上級の鮮魚を急成長するアジアに提供

日本では魚食文化が徐々に衰退していることなどから、国外で収益を生む仕組みづくりの必要性を感じていました。2016年頃から、活気に満ちたタイ王国に注目。最初は魚を詰め込んだ発泡スチロール箱をキャリアにくくりつけてタイ王国に渡り、高級レストランに営業してまわるという泥臭いスタイルでスタートしました。当時すでに日本の鮮魚を卸している業者は30軒ほどもあったそうで、弊社は後発もいいところでした。

しかしサンプルとして魚を預けてしばらくすると、問い合わせがひっきりなしに。弊社の高度な魚の処理技術が評価されたのです。これからアジアは急成長し、高級レストランが増えるでしょう。やがて究極の上質な魚が求められるフェーズが来るはず。今はその時に向けた種まきだと思っています。

コロナ禍はオンラインで種まき

私がフランスで料理の修業をしていたこともあり、弊社の海外での納入先はフレンチやイタリアンのレストランが90%。現地パートナーが敏腕だったことも功を奏し、2018年頃は海外輸出の売り上げが全体売り上げの三分の一に及ぶ勢いでした。

しかしコロナ禍で航空便が止まり、2021年にはタイ王国の現地法人をたたむことに。コロナ禍は我慢の時と割り切り、コロナ関連融資を実施しており、且つ海外展開支援に手厚いと評判の商工中金にサポートを依頼しました。またジェトロ主催のオンライン商談会にも精力的に臨み、40社以上と商談しました。ジェトロのような公的機関がビジネスマッチングの窓口を用意してくれるのはありがたいです。コロナ禍が収束したら、再び積極的に海外へ打って出たいので、サポートを期待しています。

海外経験はかけがえない財産に

海外市場にはリスクもありますが、大きな学びが得られる場です。なにより、新しいアクションを起こせる事業者であるというアピールにもなり、なにか新規の取り組みの際に「面白いことをやってくれるのでは」という第一想起に入ることでしょう。経験は財産となりますので、最初の一步を踏み出してみるのがよいと思います。

株式会社 紀州本庄うめよし

南高梅の有名な生産地・みなべ町の梅農家として創業。南高梅の栽培から加工、販売まで一貫して行っている。

【所在地】和歌山県日高郡みなべ町西本庄278

【主要国・地域】香港、ベルギー、米国、中国、台湾等

【主力商品】梅干し、梅酒

輸出へ向け、商品を一新 専門家の意見でより一層の磨き上げを



代表取締役社長
山西 善信 氏



完熟南高梅で作った梅酒

梅干しから創意工夫で方向転換

弊社は約100年前、初代の良吉が梅農家となりその歴史が始まりました。自家農園で南高梅の栽培から加工、販売まで一貫して行っているのが強みです。

私の父である一善が、うめよし農園の食品部である「紀州本庄うめよし」を法人として立ち上げ、梅干しの輸出に取り組んできました。私も輸出に力を注ぎましたが、梅干しは添加物規制という高い壁に阻まれるため、全商品を輸出向けにしようと調味料のスペックを変更しました。それでも日本と同じく海外でも若者が梅干しを食べないため、思い切って方向転換し、干し梅など梅菓子をすることに。

三本柱で輸出を拡大

新しい商品の中でもカリカリ梅は海外でも親しみあるクランチ食感で、売れる期待感がありました。南高梅は肉厚で柔らかく加工に不向きですが研究し、製造にこぎつけました。年商の約10%が輸出事業の売上です。

また、2009年にみなべ町が梅酒特区認定を受けたことをきっかけに始めた梅酒製造も、泡盛古酒を使ったり超完熟梅を荒ごししたものをもそのまま入れたりして商品開発で差別化を図りました。

苦労もありましたが、現在は自社加工で付加価値の高い「梅干し」「梅酒」「カリカリ梅」の三本柱で輸出に取り組んでいます。

商談会で商品の磨き上げを

さらなる海外販路開拓を目指し、ジェットロ、日本政策金融公庫、県等が主催する商談会等にも積極的に参加しています。バイヤーさんからいただく意見も貴重ですし、様々な場にいる方にお話を伺いながらより良い商品づくりを目指しています。最近ではコロナの影響を受けて自粛していましたが、毎月2回は海外に足を運んでいて、自分の肌で感じたことを輸出事業に生かしたいと考えています。



本社外観



Find Japan の和歌山フェア
に出席した様子



台湾の日本物産展に出席



自社農園で栽培する梅

株式会社 九重雑賀

食酢と日本酒を共に醸す日本でも大変めずらしい蔵元。
「おすしの発祥の地」といわれている和歌山県で1908年食酢の製造元として創業。創業者は「より良い食酢を造るには、原材料である酒かすから一貫して造るべき」という考えと「食事に合う日本酒を造りたい」という夢から1934年日本酒の製造を開始する。

【所在地】和歌山県紀の川市桃山町元 142-1

【主要国・地域】中国、アメリカ等

【主力商品】食酢、食酢関連商品、日本酒、リキュール

「おすしの発祥の地」といわれている和歌山県から、
世界中の人々に「おすし」をより
おいしく召し上がって頂くために貢献する



代表取締役社長
雑賀 俊光 氏



食事に合う日本酒を追求



熟成させた酒かすを使う伝統製法



展示会の風景



Kura Master 授賞式



木桶で発酵・熟成させる伝統製法を継承

歴史と地域性が独自色

弊社では親戚が中心となり、まだ全量には至っておりませんが、原材料となる酒米の栽培を行い、その酒米で日本酒を醸し、その酒かすで赤酢を醸しています。また日本酒ベースのリキュールを醸すという一貫造りに取り組んでいます。「おすしの発祥の地」といわれている和歌山県の地理的背景。赤酢と日本酒を共に醸しているという弊社の歴史的背景。この二つの背景から「おすし」に使用する赤酢、共に楽しむ日本酒、食前食後楽しむリキュール・ノンアルコールリキュールを醸しています。

海外への歩みが自社の発展へ

海外展開をはじめから約20年間、これまで20か国以上に輸出してきました。社長自ら海外担当者として現地に足を運び、海外の企業と商談を重ねることで、自社の強み・弱みを明らかにして、販路拡大に役立ててきました。

この10年お付き合い頂いているジェットロは、今では一番信頼できる相談相手になっています。コロナ禍で海外に営業に行けない時に、ジェットロのオンラインカタログをきっかけにした商談やジェットロ主催のオンライン商談会など多くのビジネスチャンスを提供頂きました。その結果このたび、米国東海岸の輸入業社から更なる拡売を賜ることになりました。また海外から新規取引の依頼があった場合、その国の情報や、輸入業社、輸出業社の情報等、きめ細やかなアドバイスを頂いています。

食の豊かな和歌山を強みに

「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことによって世界での認知度が高まっています。その中でも「おすし」は日本食であることを理解していない人がいるほど様々な国で愛されています。和歌山では世界に紹介できる商品がたくさんあるので、弊社だけでなく、県内企業が一丸となり、「おすし発祥の地」といわれている和歌山の食文化を世界に向けて発信していければと考えています。

株式会社 世界一統

「知の巨人」ともいわれる南方熊楠をルーツに持ち、早稲田大学の創設者である大隈重信侯に「『世界を統一』する『酒界の一統』であれ」との想いで、命名された由緒正しい銘を持つ酒蔵。

【所在地】 和歌山県和歌山市湊紺屋町1丁目10番地

【主要国・地域】 アメリカ、中国、香港等

【主力商品】 日本酒、果実リキュール

「日本の南方」から
「世界の南方」へ



代表取締役社長
南方 雅博 氏



「SAKE-CHINA」プラチナ賞受賞



本社外観



World Sake Day 2018
(ロサンゼルス)



果実リキュール和歌のめぐみ



商品ラインナップ

輸出のきっかけ

海外市場への売り込みは15年ほど前から続けており、起爆剤となる販路開拓を求めていました。そんな中で、2018年に中国で行われた日本酒コンテスト「SAKE-CHINA」に出品し、日本酒「南方」が大吟醸部門でプラチナ賞を受賞したことで、自社製品に自信を深め、輸出事業に本格的に取り組むことにしました。国内消費者のアルコール離れを感じていた中での受賞であり、これから市場拡大が見込まれる中国市場に魅力を感じました。しかし当社には中国市場の情報や輸出のノウハウもなかったため、ジェットロに頼ろうと新輸出大国コンソーシアム事業に申し込みました。

コロナ禍でも輸出拡大

ジェットロから派遣された専門家には、まず、中国市場開拓のための自社の強み・弱みの分析や、中国市場向けの戦略立案のサポートを頂きました。さらに、各地の商談会で知り合ったバイヤーの中国国内での販売実績や経営状況、信用情報の入手方法などについてのアドバイスも頂き、複数の企業と代理店契約を結ぶことができました。

さらに商標登録時には、中国での商標登録や知的財産に長けた別の専門家から具体的なアドバイスを頂きました。こうした支援を受けたことで、コロナ禍で海外のバイヤーと知り合う機会が大幅に減ったなかでも、製造部門の売上に占める海外での売上を30%に伸ばすことができました。

「チーム和歌山」でさらなる飛躍を

国内市場ではどうしても価格競争や目先で売れているものに目が行きがちです。一方で、輸出事業においては企業の規模や経営者の年齢、経験ではなく、製品の質や経営者の熱意や真摯に取り組む姿勢がバイヤーに評価され、成功に繋がります。

今後の展開として、複数の企業が集まれば、一社だけでは成し得ないことにも挑戦できるので、ジェットロには企業同士の橋渡し役を期待しています。「チーム和歌山」を結成し、海外輸出をさらに盛り上げていきたいと思っております。

八旗農園

「桃源郷」と呼ばれるほど桃畑が広がる紀の川市桃山町で、エコファーマーの認定を受け、こだわりの桃を栽培。ピューレやジャムなどの加工品も自社で製造・販売している。

【所在地】和歌山県紀の川市桃山町元 266-3

【主要国・地域】マカオ、香港、ベルギー

【主力商品】桃、桃加工品

最上級の桃をアジア圏へ 専門家のフォローでスムーズに実現



代表取締役
高平 昌英 氏



直売所外観

ジェットロの勧めで輸出に関心

3農家が集まり設立された弊社は、地域ブランド「あら川の桃」を栽培しています。売上は好調でしたが、収穫から5日ほどで傷み始めてしまう桃の足の早さが悩みの種でした。時には余った実を畑で腐らせてしまうことも。

課題解決のため加工場を作り、ピューレなどを製造し始めた矢先、日本政策金融公庫やジェットロなどから海外輸出にも目を向けてみてはと助言を頂きました。お中元をはじめとする進物文化も徐々に衰退する中で、販路は多いほうが良いと考え、海外での販路開拓にチャレンジする決意を固めました。

マカオで桃の生果が好評を博す

2019年、日本政策金融公庫の「トライアル輸出支援事業」に申し込むと、マカオの高級スーパーから、桃の生果を売ってほしいと引き合いが。最上の等級である「秀」規格の桃を航空便で送ると、マカオの人々の嗜好に合ったようで高価ながら大人気を博したとの報告を受けました。それ以来、毎年継続して輸出し、その評判を聞いた別業者からも引き合いがあり、香港の取引先ができました。生果に需要があるのは実際に輸出を経験して初めて知ったことです。

間接商社に入ってもらったことで、書類上の手続きや代金の回収などに悩まされることはありません。今後はタイへの輸出を視野に入れ、農薬の規制や梱包をする直売所の現地調査を受けるなど、準備を進めています。

加工品をヨーロッパにも

桃は国内でもニーズが高いため、今の取引先を大切に、国内外で誠実な取引ができる範囲で頑張っていきたいです。いっぽうで声がかかると嬉しいもので、今はベルギーのフルーツビールの醸造家の方から桃ピューレの相談を受けているため、これをきっかけにヨーロッパ進出ができるかもと期待しています。

加工品は、年間を通して世界中と取引できます。HACCPや世界的な食品安全マネジメントシステム・FFSC22000の認証などを積極的に獲得したいので、初めてのことを丁寧にサポートしてくれる日本政策金融公庫やジェットロの支援をこれからも受けながら歩みを進めたいです。



桃の加工所



出荷を待つ「秀」規格の桃



直売所で販売される家庭用の桃



期間中は多くの人を訪れる

株式会社 濱田

「土づくりからお手元まで」をモットーに、梅の郷・石神で、梅の栽培から梅酒・梅製品の製造、販売までを一貫して行う。独自オンラインショップ「石神邑」を運営。

【所在地】和歌山県田辺市上芳養391

【主要国・地域】ベトナム、中国、オーストラリア、ミャンマー、アメリカ

【主力商品】梅干し、梅製品、梅酒

視野を広げ、地域を助きたい 海外の「お酒の場」へ進出を模索



専務取締役
濱田 朝康 氏



クラフトリキュール「Orchard CODO」

梅酒でアジア圏のシェアを狙う

私たちは3つの会社で梅の栽培から梅干しや梅酒の製造販売、通信販売まで一貫して行っています。紀南エリアは梅が主要産業であり関わる人も多いですが、梅干しの市場規模は過去の良い時期と比べて半減しています。新たな活路を見出したいと海外販路へ目を向けました。リキュール全体の輸出量は右肩上がり、梅酒は受け入れられやすいと感じたため、近年開発した新しいリキュールと共に、特にアジア圏でシェアを広げたいと奮闘中です。

開発した「和歌山クラフトリキュール」は、地域課題を解決する人材育成を目指す「たなべ未来創造塾」に参加して知り合った果樹農家が課題とする果実のロスを減らしたいと思ったことがきっかけでした。和歌山県産の果物をブレンドし、梅酒の製造技術を応用しています。地域と一体となったローカル感・手作り感を打ち出して、梅酒とは違う切り口の商品に仕上げました。

専門機関も積極的に活用

日本政策金融公庫からは資金面での支援を以前から受けていました。その他ビジネスプラン全般を作る過程でも、細やかなサポートをいただいています。一方でジェットロには、販路拡大の窓口として助けられています。過去にはベトナムや中国、オーストラリアなどの展示会に参加しました。海外のバイヤーと繋がるオンラインサイトの「JAPAN MALL」にも出品を考えています。今はコロナ禍のため商品知名度を上げ発信力をつける時期だと考え、地域の店舗への営業を地道に続けています。



ショップ「石神邑」



中国・大連での展示会の様子



ミャンマーで盛大なテイスティング
セレモニーを行ったことも



海外の酒販店にて、高級酒として
展示販売

輸出へのチャレンジで広がった視野

海外への販売策を考えたり現地へ自分も足を運んだりして実感したのは、「課題解決策の幅が広がる」「自社を客観視できるようになる」ということ。地域に根ざして仕事をするのはとても大切ですが、私は変革を起こすような視点の転換がしくて田辺を飛び出したので、「お酒にはポテンシャルがある」という気づきが得られて本当に嬉しかったです。和歌山の梅、果実は「救世“酒”」になれると信じています。

株式会社 マルリョウナガオカ

自社オンラインショッピングサイト「紀州良梅庵」で梅酒や梅加工品を販売する梅のプロフェッショナル。2010年に酒類製造免許を取得し、梅酒業界へ参入。完熟梅を使った高級・高品質の梅酒を開発、販売している。

【所在地】和歌山県日高郡みなべ町芝 261-1

【主要国・地域】台湾、香港、中国

【主力商品】梅酒、梅干し

樹上完熟した梅を追熟 時間と手間暇をかけた逸品を世界へ



代表取締役社長
永岡 良美 氏

専務取締役
永岡 亮 氏



商品ラインナップ

味にこだわり海外市場でも高評価

弊社は元々梅干しの会社で、酒類製造業者の許可を得たのは2010年と、梅酒業界の中では後発組です。和歌山県みなべ町産の南高梅と焼酎（兵庫県は省く）、氷砂糖だけを使ったおいしい梅酒をと商品開発を進め、5年熟成の「琥珀の極」をはじめとする高級ラインの梅酒を開発しました。弊社の梅酒は、樹上完熟し、自然に落下するまでに熟した梅を追熟させて使用しています。梅のプロだからこそ、梅の味を最大限引き出すようこだわり、2018年には全国梅酒品評会で金賞を受賞しました。海外市場特にアジア圏では甘口が好まれるため、完熟梅の濃厚でフルーティな味わいは高評価をいただいています。

2013年、長年お付き合いのあった台湾の業者へ梅酒を販売したことが、初の輸出事業でした。続いて和歌山県主催の商談会に出展したところ、香港の高級ホテル向けに成約し、海外での販売に大きな自信ができました。

ジェットロのアレンジで課題解決

台湾向けや、当時フリーポートの香港向けでは、国内取引と同じような感覚で輸出事業がスタート出来ました。

更なる海外販路開拓を目指し、ジェットロの「JAPAN MALL 事業」に申し込むと、中国・成都のバイヤーから引き合いが来て、成約することが出来ました。ただし輸出にあたっては、多くの必要書類や煩雑な通関手続き・売上金の回収方法等の課題に直面しました。ジェットロに相談したところ、成都のジェットロ現地事務所バイヤーとのウェブ会議を設定頂き、中国系の商社を紹介してもらう等により、無事に輸出することが出来ました。

今後も更なる海外販路開拓を目指して

現在は梅酒を中心に輸出し、輸出額は全売上高の10%を占めるまでに拡大しました。コロナ禍の終息を見据えて増産し、将来的には輸出比率を50%位まで引き上げたいと考えています。

弊社の梅酒は「和歌山梅酒」としてGI（地理的表示）認定を受けており、海外での差別化が期待できる特産品です。GI認定は特にヨーロッパ圏で高く評価されると感じており、積極的に販路開拓を目指します。

将来は、海外の人に、日本の代表的な飲料として梅酒を挙げて頂けるようになるまで、尽力していきたいと思っております。



本社外観



2年熟成本格梅酒「琥珀の極」



来社した香港の商社の方と



完熟し自然落下した梅を使用

小川工業 株式会社

固有のプレス技術「ファインプレス工法」による自動車・建築向け高精度金属部品の製造・販売を行う加工メーカー。自動車OEMメーカー、一次メーカー、建築系の商社、問屋に納品している。

【所在地】和歌山県橋本市隅田町真土39

【主要国・地域】中国、メキシコ、アメリカ、タイ

【主力商品】ファインプレス品、中空長尺冷間圧造品（自動車用品・建築部品）、建築用高ナット（鋼・ステンレス）



工場外観

計画段階から専門家と共創し、 戦略的に進出成功を狙う



代表取締役社長
小川 潔 氏

初の海外進出は中国・広東省

自動車メーカーが次々に中国へ進出していた頃、私たちも中国に工場を作ろうとジェットロ主催の現地視察に参加しました。立ち上げ手順などわからないことばかりでしたし、頼る人脈もなかったのですが、現地のジェットロの支援に助けられ、2012年に広東省の工業団地に進出しました。立ち上げた当初の販路開拓には、広州モーターショーの隣でジェットロが開催する自動車部品の展示会が役に立ちました。また、資金面では長年取引のある日本政策金融公庫から情報収集などでサポートいただき、海外展開向け融資制度を活用することができました。

信頼できる情報源が成功へ導く

中国の工場では日本では取引実績のなかった企業からも受注ができ、比較的スムーズに軌道に乗りました。そして2018年、2箇所目の海外拠点となるメキシコで工場を稼働しました。メキシコへの進出はジェットロの「ハンズオン支援」を受け、計画段階から専門家と共創しました。ジェットロからの助言で工場を自前で持たずグアナファト州で工場をレンタルすることにし、そのおかげでコストダウンできましたし、工場の稼働を早められたため業界の動きに素早く対応でき、まとまった受注に繋がりました。

海外進出時は信頼できる情報源を持つことと、意思決定時に専門家に相談することがとても大切だと思います。ジェットロは世界中にネットワークがあるため幅広い情報を持っており、そこから私たちに必要な情報をカスタマイズして提供してくれます。それがとても役立ちましたね。

売上以外にも好影響

現在は海外売上が全体の10%ほどに伸びました。海外での縁が日本での取引に結び付いたこともあります。駐在する人材の育成も課題ではありますが、海外で力をつけて帰国した社員の背中を見て、次の世代も刺激を受けているようです。海外進出によって広く良い効果が出ていると感じます。

メキシコはまだ市場開拓の余地があるので、注力していきます。また、建築資材もニーズがあるはずなので、チャンスがあれば拡大したいです。ジェットロ・メンバーズとしてこれからも海外展開のフォローを受け、会社の発展を目指します。



メキシコ工場のメンバー



本社工場生産ライン



人材の育成にも力を入れている



中国の工場での研修風景

株式会社 三晃精密

精密加工を得意とし、特に金型におけるプレート加工を高精度で仕上げる技術を追求している。設計から加工納品まで一貫した体制を整えて、国内外へ精密プレス金型及び金型部品を提供している。

【所在地】和歌山県橋本市高野口町小田 565-1

【主要国・地域】インドネシア

【主力商品】精密金型部品加工、精密機械・装置部品加工、精密順送プレス
金型製作、治工具設計・制作



インドネシアの合併会社玄関にてパートナーと

信頼できるパートナーと

海外拠点を設立、規模拡大へ



代表取締役
濱本 浩一 氏

現地での良きパートナーとの出会い

インドネシアとの縁は、2007年に同地の日系企業から届いた精密金型部品の製造依頼メールから始まりました。納品時に訪れたジャカルタは想像以上の都会で、良い印象がありました。繰り返し訪れていると、「精密金型が手に入りにくいインドネシアで事業をやってみないか」と誘いがあり、2015年に独資で進出計画を立てましたが、現地の急な景気後退で保留となりました。

その翌年、県の産業振興財団から話をいただいてインドネシア視察に同行したのですが、現地で紹介してもらった人物との出会いが運命的でした。彼は日系自動車メーカーと深い関わりがあり、合理的な生産方式を全面的に導入するなど、非常にレベルの高い仕事をしていました。人柄もとても誠実で、彼とタッグを組めば上手くいくと直感しました。

現地に合併会社を設立

この時に、単独の行動では縁のなかったジェットロインドネシアや商工中金の職員が派遣されているバンクネガラインドネシアジャパンデスクなどの機関とも縁ができました。2018年、商工中金からジェットロ和歌山情報センターを紹介され、新輸出大国コンソーシアムの「ハンズオン支援」に応募。採択されて3年間指導を受けました。合併会社設立における主導権の交渉から販路開拓、人材採用、設備導入、通関や税務、工場管理や人材管理と、課題を一つずつクリアにする専門家の手腕を目の当たりにしました。さらに商工中金からは現地口座の開設や融資面での支援に留まらず、細やかに実務面でフォローを頂きました。私たちのコーディネーター的な役割を担っていただいたことでスムーズな動きができたと思っています。これらの支援により、2019年に合併会社を無事に設立できました。

今後はASEAN諸国へ販路を開拓

今後はインドネシア工場でのものづくりをさらに強化し、マレーシアやタイ、ベトナムなどASEAN諸国へ販路開拓や規模の拡大を視野に入れています。インドネシアは製造業が盛んな国のため、現地での情報交換も大切な仕事の一つですから、商工中金にはインドネシアに進出している日本企業同士のマッチングにも期待したいですね。また、海外拠点を作ったものの撤退する企業が多いのも現実ですから、ジェットロには進出後の成長支援についてのプログラムを近いうちに相談しようと思っています。



2017年、合併会社と技術提携 日系自動車企業にてミーティングに同意



高い技術を誇る精密金型



本社外観

株式会社 湯川鑄造所

数多くの産業分野へ鑄鉄製品を提供する、1891（明治24）年創業の老舗鑄造所。中国河南省に「新郷（シンシャン）湯川精密機械金属有限公司」を構え、二拠点体制で操業している。

【所在地】和歌山県和歌山市粟 191-1

【主要国・地域】中国

【主力商品】鑄造製品



中国・河南省のシンシャンユカワ工場

「日本クオリティ」で自走する 中国工場を強みに



代表取締役社長
湯川 善晴 氏

「一品一葉」の鑄造製品を中国でも

弊社の鑄造製品は工作機械の部品をはじめ、車やオートバイの部品や、ロボットの関節部分、大きな印刷機のフレームまで幅広く使用されています。製品は基本的に顧客に合わせて細かなカスタマイズを行うオーダーメイドです。人による手作業も多く、長年蓄積したノウハウがあるからできる仕事です。

和歌山工場では多品種小ロットのものづくりを行い、中国のシンシャンユカワでは大ロットや大型製品を取り扱っています。中国の生産量は和歌山の10倍、売上の7割を占めるまでに成長しました。

スタッフの意識改革でレベルアップ

中国の操業開始当初は日本人スタッフが常駐し、指揮をしていました。中国の現地企業として日系企業から発注を受けることも多く、日本製と同じ品質・納期を求められていたので日本と同じような体制を整えていました。

中国人スタッフに工場を任せ、「日本クオリティ」を維持したまま自走できないかと改革を図ったのは5年前のことです。現地スタッフにクレーム処理や品質向上の取り組み、ノウハウの積み上げといったナレッジ継承に積極的に参加してもらい、意識を変えて自分ごととして捉えてもらえるような仕組み・人づくりを行いました。その後コロナ禍となり、私ももう2年半ほど現地に行けていませんが、これまでの改革が功を奏しているのか、ITを駆使したマニュアルの共通展開と緊密なやり取りによって順調な二拠点操業ができています。

日本政策金融公庫のサポートで投資を実現

海外の現地法人で難しいのは、設備投資のための資金調達です。私たちは日本政策金融公庫の「海外展開資金」を日本で借り入れ、シンシャンユカワへ転貸する形をとっています。投資により機械加工の設備を増やし、鑄造製品を素材としてだけでなく機械加工の済んだパーツとして付加価値をつけて提供できるようにしています。

小規模の鑄造業者は撤退するところも増えてきたため、私たちが担う役割は年々大きくなっています。鑄物で社会を支えられるよう、これからも邁進していきます。



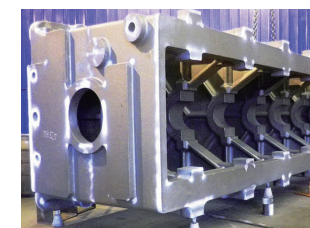
和歌山工場外観



モーターフレーム



鑄造部品



鑄造部品

株式会社 ユニカル

金属加工時に使用する洗浄剤、潤滑剤などを製造する化学分野におけるベンチャー企業。工業用洗浄剤や潤滑被膜剤の研究開発から製造・国際取引を含む販売までを一貫して対応できる体制を敷く。2007年以来、ステンレスワイヤー業界で世界のトップシェアを誇る。

【所在地】和歌山県橋本市小峰台2-9-9

【主要国・地域】アメリカ、中国、韓国、台湾、タイ、ベトナム、インドネシア等

【主力商品】洗浄剤、潤滑剤、防錆剤

市場ごとに商習慣などの特色を把握し、事業を展開 東アジア・北米の進出を実現



代表取締役
小林 真治 氏



腹心の部下・周さんと



製品の使用イメージ



実槽試験場での製品テスト



輸出を待つ製品



本社外観

中国人社員とアジア市場を開拓

年商わずか12万円だった会社を親から継いだのが約40年前です。寝食を忘れて働き、5年で年商3,000万円を達成しました。その後アジアに目を向け、中国人社員を採用しました。彼女の目覚ましい活躍で、取り組み始めてから7年で東アジア市場のステンレスワイヤー業界でトップシェアを獲得しました。主なターゲットは華僑が経営する企業で、商品の専門性が高いこともあり、商社を通さず直接取引をしていました。社内に信頼できる中国人社員がいるのは大きな強みでした。

北米進出はジェットロの支援を受けて

2020年にアメリカ市場に取り組み始めてすぐ、アジアと全く違うビジネスの環境、商習慣などがあると感じ、助言をもらおうとジェットロに相談しました。ジェットロの専門家とともにロードマップを作成し、マーケティングのための分析手法などを学びました。輸出に慣れているという自負がありましたが、基礎からノウハウを教わると目からうろこが落ちる部分も多かったです。

こうした公的支援を受けながら、リストアップされた企業の1社と米国での現地販売代理店契約を締結でき、北米進出が叶いました。契約相手の企業は大企業ですが動きや体制がベンチャー企業のように、クリエイティブな動きをしてくれる素晴らしいパートナーです。このような企業に弊社を選んでもらったのは、日本の公的機関であるジェットロのハンズオン支援の認定企業という安心感があったからだと思っています。舞台を整えてもらったので、ここからは私たちの腕の見せどころです。売上を伸ばし、現地法人設立など、さらに上のステージへ向けて頑張ります。

インドやヨーロッパにも目を向ける

実は以前に、インドで合併会社を設立しながら、2年で撤退した経験があります。その時はインドでのビジネスを難しいと感じましたが、これからのインド市場は無視できない状況なので、今度はジェットロなどの支援を受けながらリベンジしたいです。

ヨーロッパも取り組むべき市場の一つですが、化学物質の規制が厳しく、ハードルを感じています。ジェットロからは新輸出大国コンソーシアム事業の中の、国際認証や法務、物流など各分野に長けた専門家の利用を提案してもらっているところです。ジェットロは公的な機関なのでフラットな目で、良い点も悪い点も指摘してくれます。民間コンサルティング企業から時に感じる利益誘導のようなものがないのも、安心して相談できる材料となっています。

原田織物 株式会社

浴用タオル、布巾、バスタオル、フェイスタオルなどの生活繊維雑貨の企画、製造、販売を行っている。製品はOEM生産が主流で、自社で一気通貫した高品質なものづくりが強み。オリジナルブランド「KIYOI」の海外展開が好評。

【所在地】和歌山県橋本市高野口町名古曾821

【主要国・地域】フランス、オーストラリア、ウクライナ、スイス

【主力商品】浴用タオル、布巾

オリジナルブランドで世界へ羽ばたく
多くのOEMで培った

「ONLY ONE」の技術を武器に



代表取締役
原田 晋平 氏



神野々工場



神野々工場内部



メゾン・エ・オブジェの様子 数々の賞を受賞



メゾン・エ・オブジェの出展ブース

展示会でジェットロへ関心

私たちは浴用タオルの国内シェア75%を誇り、綿や麻、シルクをはじめ、特許を取得した土に還るトウモロコシ繊維PLA素材のものを製造・販売しています。以前から人口減少による国内市場の縮小に対応するため海外の展示会へ出展を繰り返していました。そこで見かけるジェットロのロゴがいつも気になっていました。「国際ビジネスの経験豊かな専門家が丁寧に支援してくれる」との口コミも聞き、いよいよ相談しようとした矢先、「地域未来牽引企業」に選定されている企業ということでジェットロのほうから訪問してくれました。

ジェットロの確かな仕事に感謝

ジェットロの専門家には、多くの外国企業との商談経験に基づくアドバイス、海外の幅広い人脈を活かした情報収集、マーケティング戦略の立案支援などで助けられています。また、コロナ禍をきっかけに始まったジェットロの「サンプル展示WEB商談会」では、ジェットロの海外事務所に弊社の商品をサンプル展示いただきました。それにより、現地へ渡航できない状況にあっても、現地の事務所でサンプルを見たバイヤーとオンラインで商談を行うことができました。現在は2022年1月に開催されるパリの展示会「メゾン・エ・オブジェ」に出展するため、専門家と緊密に連携しながら準備を進めています。海外の展示会では、国内にはあまりない高額のおファーや既決されるバイヤーと出会うことができます。海外の取引先は事業のさらなるステップアップに貴重な財産になると考えています。

帰国した実習生に輝く場所を

糸や繊維の選定段階から機能性や強度にこだわりを持ち、「MADE IN JAPAN」に相応しい高品質な製品製造の姿勢を貫いています。製造現場には、ベトナムからの技能実習生を受け入れています。熱心に働き、技術を覚えてくれる彼らが帰国後も母国でその技能を活かす場を設ける等、更にグローバルな会社を目指します。その一端としてジェットロなどの公的支援をうまく利用し、国内生産と変わらぬ品質を担保できる海外拠点を作ろうと、機を狙っているところです。

Bunpo

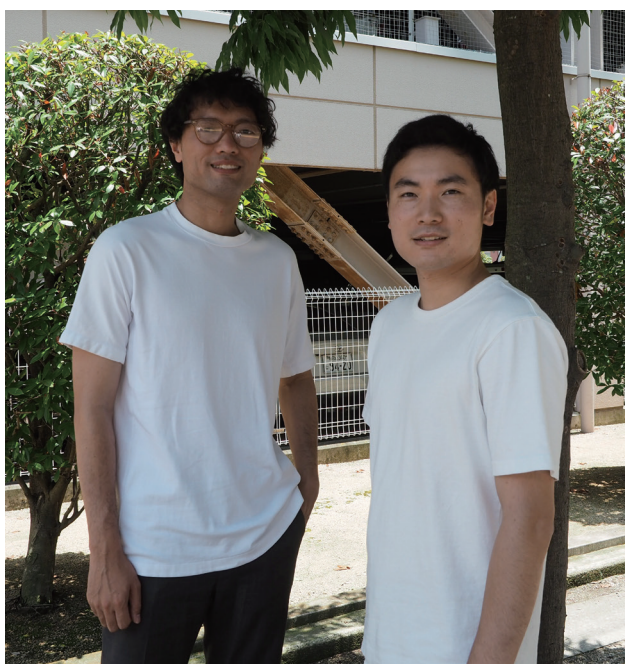
和歌山市に居を構える、語学教育サービス・ソフトウェア開発ユニットBunpo（ブンポ）。学生時代にアプリの着想を得て、兄弟二人三脚で開発、運営している。

【所在地】和歌山県和歌山市

【主要国・地域】北米

【主力商品】日本語学習アプリ「Bunpo（ブンポ）」、「Lirer（リレ）」

日本語学習アプリがクチコミで広がり 世界で136万ダウンロード達成



代表

山本 優希 氏

山本 大輝 氏



海外出張



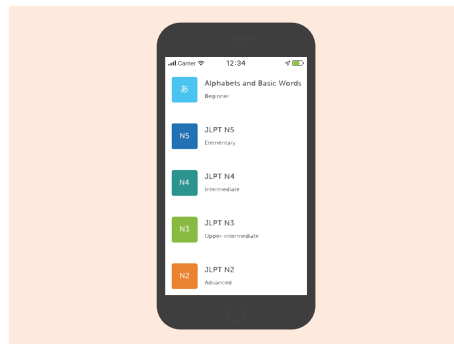
アプリ開発の様子



ボランティア時代



学習の様子



日本語学習アプリ「Bunpo（ブンポ）」

日本語の学習をフォローしてあげたい

英語圏向けの日本語学習アプリ「Bunpo」の開発は、大学在学中のボランティアがきっかけでした。留学生に日本語を教える際、それぞれの理解度に合わせたレッスンが大変なことから、アプリ等のツールを使い、個々に学習をフォローできれば学習効率を上げられると考えました。生徒一人ひとりにぴったりの学びを提供したいという「コンテンツありき」だったため、どういう形で実現するのがいいか長期にわたり検討しました。アプリにしよう決め、技術力のない素人の状態で本を買ひ、独学で開発を開始。弟と共に奮闘し、2017年7月、約7カ月の開発期間を経て「Bunpo」をリリースしました。

コンテンツが評価されユーザーが増加

リリース当初は利用者が伸びず辛かったですが、ひたすらバグを修正しながら学校を回るなど広告に頼らないPRを行いました。そうするうちにアプリストアで検索上位に出たり、優良な日本語学習アプリとして特集ページに取り上げられたりし、一気にユーザーが増加。現時点で136万件以上ダウンロードされ、高評価のレビューも集まっています。シンプルで効率のよい学習ができるよう工夫したコンテンツが多くの方の日本語学習に役立っているようです。利用者はアメリカ在住者が多く、比較的若い層に支持されています。

2019年「Bunpo」にサブスク型の課金コンテンツを追加し、創業。2020年には単語学習アプリ「Lirer（リレ）」をリリースと、スピード感をもって新しい事業に取り組んでいます。アプリのコンテンツを書くライターや現地の協力者など仲間も増えてきています。

日本語学校で教材に採用されたい

今後は「Bunpo」の対象言語を、フランス語やスペイン語へと広げていきたいです。開発は日本語バージョンの学習ノウハウを転用できると考えています。ジェットロからは、サービスの差別化とマーケティングツールについてアドバイスを頂きました。事業の発展段階に応じて、外国人材の活用や海外の大学・日本語学校へのアプローチ方法等について、ジェットロの海外ネットワークを活用した支援を受けたいと考えています。

私たちに
ご相談ください

JETRO

TEL : 073-425-7300
FAX : 073-425-7310
MAIL : WAK@jetro.go.jp

オンラインを活用した海外販路拡大事業

【JAPAN MALL (ジャパンモール事業)】

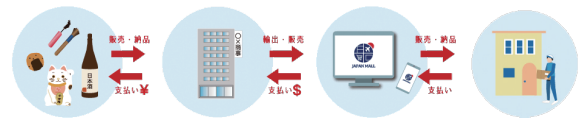


海外主要ECサイトによる日本商品の買取・販売事業です。ジェトロが連携する世界60以上のECバイヤーに商品を紹介します。



- 世界の複数か国・地域へ紹介可能
- 原則、国内買い取り、国内納品、日本円決済
- 買い取りなので、低リスク
- 登録無料
- ECサイトでの販売のため多くの消費者へ商品をアピールできる
- プロモーション実施後の売上実績等をレポート

〈対象者〉日本企業及び海外進出企業
〈対象製品〉食品・飲料、化粧品、日用品、生活雑貨 等
〈登録費用〉無料(別途サンプル費及び送料等が発生する可能性あり)



事業参加企業
ジェトロが海外ECバイヤーに商品情報を紹介。お引き合いのあった商品について、次のステップをご連絡します。

指定商社等
バイヤー・指定商社等と条件を交渉し、受注が確定したらバイヤー・指定商社等と契約・納品ください。

海外ECサイト
海外ECサイト内にて、商品認知のためのプロモーションを実施します。(例外あり)

海外消費者
JAPAN MALL事業を通じて、様々な国の消費者に商品を販売する機会が広がります。

【JAPAN STREET (ジャパンストリート事業)】



ジェトロの76の国・地域に広がる海外事務所とコンタクトを持つ招待バイヤー限定のオンラインカタログサイトです。商品は通年で掲載され、ジェトロが24時間365日バイヤーに商品を案内します。



〈対象者〉日本企業及び海外進出日系企業
〈対象品目〉食品(生鮮品、加工食品、飲料等)、コスメ・ビューティー、ホーム・キッチン、ファッション、ホビー・玩具・ゲーム・スポーツ・アウトドア、精密機器、医療機器、産業機械、原料・素材、情報通信及び機器、産業機械・部品、金属製品、輸送用機械・部品、非金属製品、コンテンツ(映像・音楽・ゲーム・ライセンスビジネス)等
〈参加費〉無料
〈対象国・地域〉ジェトロがネットワークを有する国・地域(予定)



事業参加企業
オンラインカタログサイトJapan Streetに商品を掲載し、海外バイヤーとの商談や取引機会を創出します。

Japan Street
Japan Streetでは検索やレコメンド機能等の充実、バイヤーの関心に合わせた商品の表示、特集ページの設定などにより、海外バイヤーからの引き合いのチャンスを最大化します。

海外バイヤー
Japan Streetはジェトロが招待したバイヤーのみが利用できるサイトです。オンラインで場所・時間を問わず日本商品を探ることができます。

本紙掲載の企業様にご利用されている専門家派遣事業

ジェトロでは、海外駐在や外資系企業での勤務、外国企業との商談などで豊富な経験を持つ専門家や、国際ビジネスを行うにあたって必要になる国内外の基準・認証、貿易実務、法務、税務等に詳しい専門家に数多く在籍してもらっています。これらの専門家が、皆さまの状況や求めに応じて、貴社を訪問するなどして、個別に相談対応いたします。

海外市場に関心を持ちながら、はじめの一歩を踏み出せない企業の方、海外事業に取り組んでみたものの思うような進展を得られていない企業の方などにおかれましては、是非、ジェトロ和歌山にご連絡ください。

【支援対象として海外事業の例】

輸出、現地法人立上げ、HACCPやFSMA等食品安全・基準認証の取得、海外での商談会や見本市への出展、高度外国人材の採用と定着 など

なお、これらの事業には、年間の支援企業数に限りがあるなど条件があります。

商工中金 国際業務のご案内

商工中金は公的金融唯一のフルバンキング機能を有しており、国際業務についても資金決済などの貿易取引、海外現地法人の資金調達のお手伝いなど中堅中小企業の皆様の海外展開をフルサポートします。

海外展開サポートデスク

ワンストップサービスによりお客様の多様なニーズにお応えします

- 商工中金は国内外全104の営業店や海外拠点（ニューヨーク、香港、上海、バンコク）に「**中小企業海外展開サポートデスク**」を設置しております。これまで海外展開を行っていなかった中小企業の皆様も含めて、幅広く多様な海外展開に関するご相談に応じる体制を整えており、**日本貿易振興機構（JETRO）、日本貿易保険（NEXI）、タイ王国投資委員会（BOI）、ベトナム外国投資庁（FIA）、フィリピン貿易産業省（DTI）、インベスト上海、中国経済開発区、カナダ商務部、インドネシア投資調整庁（BKPM）**等と連携し、必要な情報を提供します。
- 「金融＋情報」一体型のサポート体制を構築することで、中小企業の皆様の海外展開に関する多様なニーズに機動的かつ効果的に応えます。

商工中金の海外拠点ネットワーク

海外での企業間連携、商取引、情報交換をお手伝いします

- 海外に進出している当金庫お取引先同士の交流の場である**海外中金会（香港、タイ）・交流会（上海、大連、北米、ベトナム、フィリピン、インドネシア）**の開催や、ビジネスマッチング機能を活用し、海外においても取引先相互の連携や商取引のサポートを行います。

海外拠点： **ニューヨーク支店、
上海駐在員事務所、
香港駐在員事務所、
バンコク駐在員事務所**

主な提携銀行： バンコック銀行（タイ）、
BNI（インドネシア）、交通銀行（中国）、
RCBC（フィリピン）、
スタンダードチャータード銀行
（2020年3月時点）

国際業務の概要

海外事業サポート業

- 海外の投資環境等の情報提供
- 海外セミナー・海外中金会（交流会）の開催

〈開催地〉
上海・大連・香港・バンコク・
ニューヨーク・ホーチミン・
ジャカルタ・マニラ

※ 取引先相互の情報交換の場として活用いただいております。

貿易取引のお手伝い

- 輸出・輸入にかかる貿易決済等の外国為替業務（海外送金、L/C開設など）
- 先物為替予約等による為替変動リスク対策のご提案
- 外国企業とのお取引に伴う各種債券（銀行保証書）の発行

海外現地法人の資金調達のお手伝い

- 〈ご本社でのお借入〉
 - 海外進出にかかる出資金・貸付金のご融資
- 〈海外現地法人でのお借入〉
 - 海外現地法人に対する事業資金ご融資
 - 借入を目的とした外国銀行向け保証業務

外貨預金のお取り扱い

- 外貨普通預金
 - ・米ドル
 - ・ユーロ
 - ・その他通貨
- 外貨定期預金
 - ・米ドル
 - ・オーストラリアドル
 - ・ニュージーランドドル

金融情勢等により、一時的にお取り扱いを中止する場合がございます。

海外展開支援のご案内

日本公庫では、海外展開を検討するみなさまに、海外展開・事業再編資金のご融資や、海外展開の支援を行う専門機関のご紹介を行っています。

海外展開・事業再編資金のポイント

幅広いお使いみちに利用できます



① 海外への直接投資

例 現地事務所を開設したい
 ● 海外現地法人(子会社)等への出資等のための資金も対象となります。



② 海外企業への生産委託

例 現地企業へ製品の生産を委託したい



③ 海外への販売強化

例 進出予定国で市場調査したい
 例 越境ECを活用して輸出を行いたい



④ 海外展開事業の再編等

例 海外の工場を別の国へ移転したい

次のいずれかに該当する方であって、一定の要件を満たす場合、特別利率が適用されます

- ① 日本と経済連携協定(EPA)または自由貿易協定(FTA)を発効または署名している国で海外展開事業を行う方
- ② クールジャパンの推進に資する事業を行う方
- ③ 海外への直接投資を行う方
- ④ 販売強化または生産委託を新たに行う方
- ⑤ 海外知的財産権を活用した事業を行う方

専門機関のご紹介

ご相談の内容に応じて、専門機関をご紹介します。



日本貿易振興機構(ジェトロ)
 海外ビジネスに関する国内外の最新情報、貿易投資ノウハウ等



中小企業基盤整備機構(中小機構)
 越境ECの活用、海外販路開拓支援等



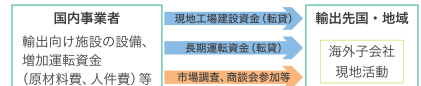
日本弁護士連合会(日弁連)
 「中小企業国際業務支援弁護士紹介制度」

農林水産物・食品輸出基盤強化資金(仮称)の概要

輸出にチャレンジする事業者を資金面から強力に後押しするため、資金使途に長期運転資金や海外子会社等への転貸を新設し、償還期限を25年以内とする制度資金を措置

現在の制度からの主な拡充内容

- 農林漁業者から加工流通等事業者(非食用加工を含む)などへ対象者を拡充
- 輸出事業が軌道に乗るまでに相応の時間・投資が必要になることを踏まえた長期運転資金を新設
- 海外での事業展開に必要な長期運転資金や施設整備資金を、親会社経由で海外子会社等へ貸し付けるための使途を新設
- 輸出に必要な大規模投資に対応するため、償還期限を25年に設定



資金の概要(令和4年秋ごろ取扱い開始予定)

- 1 貸付対象者 輸出事業に取り組む者(農林漁業者、食品頭製造事業者、食品等流通事業者等)
- 2 貸付限度額 貸付を受ける者の負担する額の80%に相当する額(上限金額なし)
- 3 資金使途
 - ① 農林水産物・食品の輸出事業に必要な製造施設、流通施設、設備の整備・改修費用 **→拡充**
 例：輸出向け生産農場、EU向け水産物の輸出に必要なHACCP等に対応した加工施設、ハラールに対応した食肉処理施設、添加物等の混入を防止するための製造ラインの増設、輸出用林産加工品の施設整備
 - ② 長期運転資金 **→新設**
 例：製造ライン本格稼働に必要な増加運転資金(素畜費、原材料費、人件費など)原料供給体制の見直しや販路の拡大に必要な運転資金、市場調査やニーズ調査に係る費用、サンプル輸出や相談会への参加に係る
 - ③ 海外子会社等への出資・転貸に必要な資金 **→新設**
 (①②の資金を親会社から海外子会社へ貸付)
- 4 金利 中小特利③-1 ただし、運転資金(海外子会社への転貸を含む)については食品加工流通金利A
- 5 償還期限 **→新設**
 25年以内(うち据置期間3年以内)(中小企業は、10年超25年以内)

県内の中小企業者等へ総合的な支援を行うことで、地域産業技術の振興を図ることを目的に設立された、和歌山県内唯一の総合支援機関であり、国からの認定を得た経営革新等支援機関です。

海外事業としては、専門員による国際取引の相談対応、海外の展示会・商談会への出展サポートや補助金事業、外部専門家を活用した支援などを実施しています。

相談業務

- ・ 貿易実務アドバイス
 - ・ 書類作成支援
 - ・ 英文ビジネスメール支援
 - ・ 海外情報の提供
 - ・ 海外展示会への個別出展補助金事業
 - ・ 海外展示会への集団出展支援事業
 - ・ 海外ビジネスミッション事業
- など

セミナー・勉強会

海外市場や販路開拓方法に詳しい専門家をお迎えして、ZOOM 等を利用したオンラインセミナーを開催したり、海外初心者向けに貿易実務に関する勉強会を実施しております。

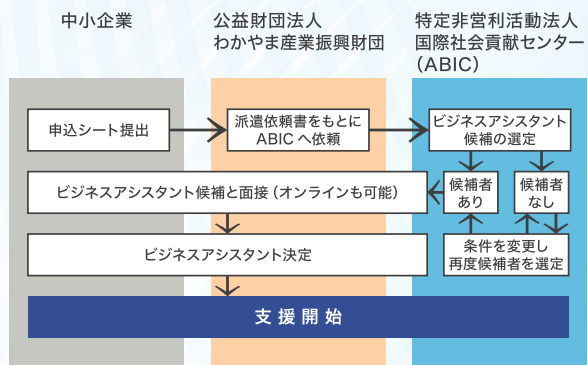
- ・ ジェトロ和歌山と連携した実務講座の共催
- ・ オンラインセミナーの実施（海外展開の基礎知識編など）
- ・ 貿易実務にかかる勉強会開催

海外ビジネス実現支援事業

海外ビジネスのノウハウを求める県内企業に対し、海外ビジネスに精通した大手総合商社などのOBをビジネスアシスタントとして派遣します。海外での商談アレンジや通訳、商品開発へのアドバイスなど、海外ビジネス実現のための総合的なサポートを行います。

(支援の内容)

海外販路開拓や海外向け商品開発、海外企業との商談アレンジ、現地調査、パートナー企業・専門家紹介、現地組織の運営や他企業との提携等に関する相談、各種許認可申請手続や輸出入業務などのアドバイス。



海外事業はもちろん国内でも様々な
支援メニューを準備しております！
是非お気軽にご相談ください。

〈お問合せ先〉

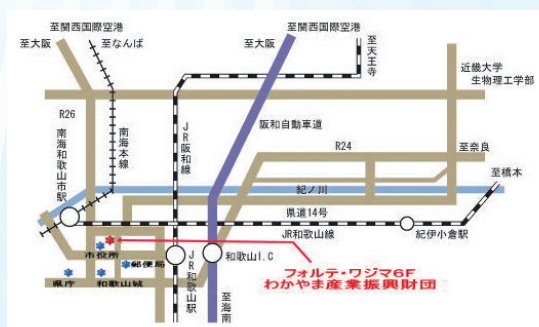
〒640-8033

和歌山市本町二丁目1番地フォルテワジマ6階

TEL : 073-433-2837

FAX : 073-432-3314

Mail : kokusai@yarukiouendan.jp



各機関へのアクセス

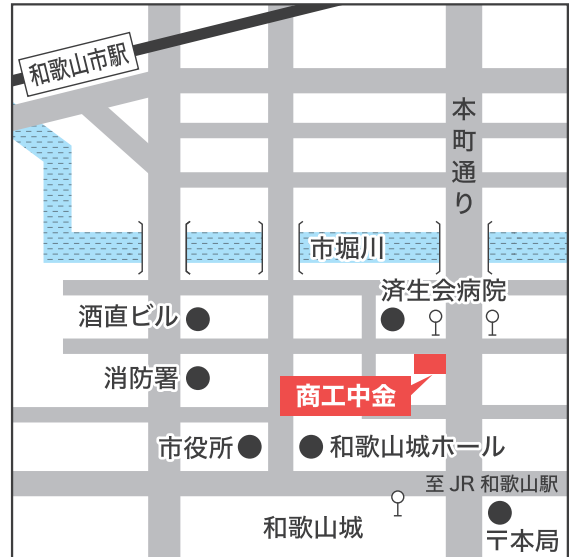
ジェットロ和歌山貿易情報センター

和歌山市小松原通1丁目
和歌山県庁東別館2階
TEL : 073-425-7300
MAIL : WAK@jetro.go.jp



商工中金 和歌山支店

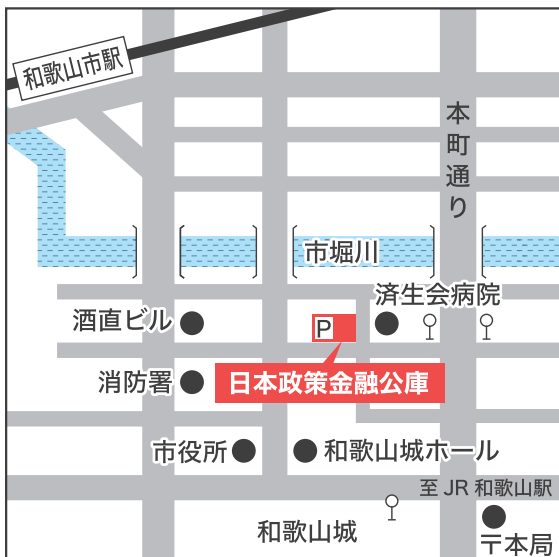
和歌山市十番丁2-1
TEL : 073-432-1281



日本政策金融公庫

和歌山支店

和歌山市十二番丁58
国民生活事業 … TEL : 0570-071039
農林水産事業 … TEL : 073-423-0644
中小企業事業 … TEL : 073-431-9301



田辺支店

田辺市高雄1丁目11-27
国民生活事業 … TEL : 0570-071826



和歌山県および周辺地域にある事業者支援を行う機関

	代表電話番号	所在地
和歌山県商工会議所連合会	073-422-1111	和歌山市西汀丁 36
和歌山県商工会連合会	074-432-4661	和歌山市十番丁 19 Wajima 十番丁 4 階
和歌山県中小企業団体中央会	073-431-0852	和歌山市十番丁 19 Wajima 十番丁 4 階
和歌山経済同友会	073-436-3457	和歌山市西汀丁 36
和歌山県国際交流協会	074-423-5717	和歌山市手平 2-1-2
和歌山県発明協会	073-432-0087	和歌山市本町 2-1 フォルテワジマ 6 階
和歌山県経営者協会	073-431-7376	和歌山市十番丁 19 Wajima 十番丁 3 階
和歌山県工業技術センター	073-477-1271	和歌山市小倉 60
大阪税関 和歌山税関支署	073-428-3882	和歌山市築港 6-22-2
大阪入国管理局 和歌山出張所	073-422-8778	和歌山市築港 6-22-2
近畿農政局 和歌山県拠点	073-436-3831	和歌山市二番丁 3 和歌山地方合同庁舎 5 階
近畿経済産業局	06-6966-6000	大阪府大阪市中央区大手前 1-5-44 大阪合同庁舎 1 号館
中小企業基盤整備機構 近畿本部	06-6264-8611	大阪府大阪市中央区安土町 2-3-13 大阪国際ビルディング 27 階
日本貿易保険 (NEXI) 大阪支店	06-6233-4019	大阪府大阪市中央区北浜 3-1-22 あいおいニッセイ同和損保 淀屋橋ビル 8 階
工業所有権情報・ 研修館 (INPIT) 近畿統括本部	06-6147-2811	大阪府大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 ナレッジキャピタルタワー C9 階
海外産業人材育成協会 (AOTS) 関西研修センター	06-6608-8260	大阪府大阪市住吉区浅香 1-7-5
国際協力機構 (JICA) 関西	078-261-0341	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2



人を思う。未来を思う。

商工中金



日本政策金融公庫

JETRO

日本貿易振興機構(ジェトロ)

©日本貿易振興機構 転載を希望の場合には、ジェトロ和歌山貿易情報センターへご連絡ください。

本紙で紹介する事例は、各企業への取材に基づき、その内容をできるだけ正確かつ詳細に紹介することを目指して作成したのですが、記載内容に誤りが無いことを保証するものではありません。